

## イタリアのユダヤ人

人口:35,000 人

イタリアは2千年もの間、離散ユダヤ人の居住地として栄えてきた。長い歴史をもつこの共同体は、西側諸国の中でも最も古い共同体の一つである。イタリアのユダヤ人は、この土地での長い伝統を誇りに思っており、またこの国とその国民に対して強い帰属意識をもっている。イタリア全土にわたり、3万5千人のユダヤ人がさまざまな共同体で生活しているが、彼らの居住地区の大半はローマとミラノにある。イタリアのユダヤ人は、アシュケナジ系にセファルディ系、そしてイタリアの伝統を兼ね備えた、彼らの文化を誇りとしている。彼らいわく、これが、他のユダヤ人と彼ら自身を区別する要素なのである。

イタリア(ローマ)に最初にユダヤ人が渡ってきたのは、紀元前2世紀、ギリシャの圧政に対してイスラエルで起こった、マカビーの反乱の後である。ローマの最初のユダヤ人共同体は、ユダヤ人の商人、奴隷、囚人から成っていた。キリスト教がローマの国教となるまでは、ユダヤ人に対する待遇に明暗の両面が交互に現れたが、キリスト教が国教になった途端、ユダヤ人の活動に大きな制限が課せられた。彼らは町々を転々とさせられ、1492年、ついにシチリアとサルデーニャからユダヤ人は追放されてしまう。その50年後には、ナポリにも同じような法令が出された。16世紀になると、プロテスタント宗教改革が、ローマ教皇からキリスト教の独占権を奪い取ったが、ユダヤ人は共謀者として冤罪を被る羽目になった。この時、教皇の命令によって、ゲットーと呼ばれるユダヤ人の集住地域が初めてできたのである。19世紀初期のナポレオン治世下では、ユダヤ人は新たな自由を獲得したが、これも長続きせず、数年後のフランス軍の敗北でこの時代も終わってしまう。それでもその後、イタリアのユダヤ人は徐々に自由を手にするようになり、1871年には、イタリアに住むすべてのユダヤ人に、自由の権利が与えられたのである。

1922年、ムッソリーニがイタリアの政権を獲得し、ユダヤ人を含め多くの人々が、この安定した政権に期待を寄せていた。しかし、第二次世界大戦においてイタリアはドイツの同盟国になり、1938年にはイタリアにいる4万人のユダヤ人に対する、差別的な法律が施行されるようになった。ユダヤ人の多くは収容所に追い込まれたが、ユダヤ人の友人や隣人をかくまうことに協力したイタリア人も大勢いた。一部のユダヤ人は、裏のネットワークでスイスへと脱出した。終戦間近にドイツがイタリアの一部を占領するようになると、ユダヤ人に対する迫害が増し、ほぼ7,750人のイタリアのユダヤ人が、ホロコーストの犠牲者となった。そしてホロコーストの後には、その多くの生存者がイタリアに定住するようになったのである。1960年代から70年代にかけて、リビアからの3千人ほどのユダヤ人がイタリアに移住している。

イタリアのユダヤ人共同体において、彼らは周りの人々との親しい関係を保っており、イタリア社会全体ともうまく融け込んでいる。カトリック教会とも外交関係をもつようになった。

1980年代初めに、いくつかの反ユダヤ主義によるテロ事件が起きたため、ユダヤ人共同体は大いに動揺した。そのため、イタリアのユダヤ人は、常に反ユダヤ主義の動きを監視し、声を大にして反ユダヤ主義に抵抗するようにしている。

また、彼らは伝統的なユダヤ教を守っており、「ヌサッハ・イタルキ」と呼ばれる、イタリア独自の典礼様式をもっている。



祈りの課題

☆多くのイタリアのユダヤ人がもっている、間違った安心感に立ち向かって。

☆イタリアのユダヤ人の、ホロコーストによる怒り、心の傷、恐怖が癒やされるように。

☆思い上がりと反抗の霊、支配と抑制の霊に立ち向かって。

☆イタリアのクリスチャンが、ユダヤ人と非ユダヤ人との間の和解、平和、信頼をもたらす仲介者となるように。

☆イタリアのユダヤ人が、彼らのメシアであるイエシュア(イエス)を見いだすことができるように。

☆彼らが神の御旨どおりに立ち上がり、神が彼らのために計画されていることすべてを行うことができるように。

☆反ユダヤ主義に対する恐怖を、神の愛が和らげてくださるように。